

研究シーズのタイトル

臨床および発達における創造性

研究者名

池 志保

所属

人間社会学部

研究シーズの専門分野

臨床心理学、発達心理学、現代自己心理学

研究シーズのキーワード

創造性、臨床、発達、間主観性理論

研究シーズの概要

創造性が生涯に亘って生きることと深く関連していることに着目し、創造性が減退することと希死念慮や鬱とがどのように関連しているかを明らかにすることに継続して取り組んでいる。最近の研究では北米を中心とした現代自己心理学の間主観性理論を取り入れ、国際学会にて臨床事例研究を発表したり、世界の研究者との交流を深めたりしているところである。今後も創造性の発生と減退のメカニズムやプロセスを明らかにすることで臨床や発達に役立てたいと考えている。

研究シーズの適用分野

医療、教育、心理療法、芸術、美術

共同研究が期待される外部機関

医療機関、研究機関、芸術関連の機関